



2019-2020 年度 藤沢ロータリークラブ週報

2019-2020 年度 RI テーマ



第 2780 地区
ガバナー

杉岡 芳樹

第 3 グループガバナー補佐

渡邊 昭

■創立 / 昭和 29 年 6 月 3 日
 ■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL: 0466-25-4000 FAX: 0466-26-9292 E-mail: info@fujisawa-rotary.com
 ■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
 ■第 66 代 会長 / 藤田 浩二 幹事 / 吉野 貴美
 ■例会場 / 湘南クリスタルホテル TEL: 0466-28-2111

NO. 17 第 3182 例会 2019 年 11 月 13 日 天候 晴れ

ロータリーソング「奉仕の理想」
 四つのテスト 棕梨 兼彰 会員

《ゲスト・ビジターの紹介》

ゲストスピーカー：檜原 亮太 様
 (藤沢エフエム放送(株)代表取締役)
 ゲスト：ウン, チェン キン 様
 (藤沢 RC 委嘱米山奨学生)

《会長報告》

- ・棕梨先生が、11 月末カンボジアの奉仕活動に行かれます。文具等を購入して、お持ちいただくための募金箱をまわします。ご協力お願い致します。
- ・地区よりの要請のありました台風被害地への義援金は、募金箱ではなく、クラブの「特別スマイル」より、会員数で拠出させていただくことに先週の理事会で決定いたしました。先週募金してくださった方返却しますので、自己申請ください。お申し出がございません場合は、カンボジアへの募金に入れさせていただきます。ご了承ください。

《幹事報告》

- ・日程報告
 12 月 11 日 米山記念館見学会
 12 月 18 日 夜間例会クリスマス家族会
 会場：湘南クリスタルホテル
 1 月 8 日 新年初例会・新年会
 会場：湘南クリスタルホテル
- ・11 月 20 日例会前に次年度の理事役員選考会を開催致します。選考委員と理事役員は、ご出席ください。
- ・会員名簿を配布しております。お持ちください。

《委員会報告》

- ・瀧澤 地区研修委員会(財団委員会オブザーバー) 財団関連委員会の報告です。ポリオ根絶チャリティーコンサートのご案内です。4 月 5 日、財団奨学生の音楽家が開催いたします。財団寄付、ポリオ寄付をしていただいた方には、チケットを配布されます。ご参加をお願いします。
 次年度財団奨学生として合格者が、発表されました。グローバル補助金より 3 名、地区補助金で 1

出席報告 ()内は計算に用いた会員数

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
10月23日	44(43)名	26名	17名	60.47%	5名	31名	72.09%
11月13日	44(43)名	28名	15名	65.12%			

名で、フランス、イギリス、アメリカに留学することになります。私たちの寄付がどのように使われるのか、彼らの活躍を報告してもらえたらと考えております。

私の所属します地区研修員会は、セミナーや勉強会の準備や企画をします。既に次年度の準備が始まっています。次年度ガバナー補佐が、ふじさわ湘南 RC の市川さんです。27日のMY Rotary の卓話でいらっしゃいます。2月のチーム研修セミナー、4月の地区研修・協議会等、研修のための行事が決まっております。ぜひご参加お願い致します。

・ 椋梨 地区青少年交換委員長

11月9, 10日で次年度の青少年交換学生の選考会が開催されました。28名の応募がありました（1名は前日棄権）上位9名が合格し、内3名が湘南学園の学生です。今後とも応援よろしくお願い致します。次年度も青少年交換学生の募集があるかと思いますが、「ロータリーについて」という質問もあります。ロータリーについても学んで試験を受けていただきたいです。

・ 大小原 研修リーダー

12月11日米山記念館見学会と夜間例会の参加人数が、確定しました。米山記念館へは21名、夜間例会へは22名です。お忙しい時期に多くのご参加、ありがとうございます。バスの中では、米山記念館に関するクイズを出して、勉強していきたいと思えます。

《お祝い》

会員誕生日 11月13日 小河 静雄 会員



11月より商工会議所の副会頭になられました

《スマイル報告》

藤田 浩二 会長

榎原さま 本日はお忙しい中ありがとうございます。卓話楽しみにしています。

椋梨 兼彰 会員

ウン、チェン キン君、本日もようこそ。

榎原さま、本日の卓話よろしくお願い致します。

川上 彰久 会員

榎原社長 藤沢ロータリークラブと藤沢法人会へのご入会、よろしくお願いいたします！

吉川 栄紀 会員

藤沢エフエム放送株式会社・レディオ湘南社長 榎原亮太様、藤沢ロータリークラブによろそいらっしゃいました。本日私は市場の産地視察で熊本に居り、やむなく欠席で残念でなりません。湘南のコミュニティFMの長として、本日の卓話よろしくお願い致します。「LOVE 湘南」

小河 静雄 会員

榎原さん いつもイベントでは一緒ですね。本日の卓話たのしみにしています。

誕生日のお祝いありがとうございます。

星谷 けい子 会員

榎原さんの卓話が楽しみです。藤沢の新鮮な情報と防災には信頼が上がりますように頑張ってください。



ウン、チェン さん

11月24日は、富士山で行われるマラソン大会に出場するそうです

《小話 3 分間スピーチ》

鈴木 大次 会員



10月22日、即位礼正殿の儀が行われ、126代の天皇陛下になりました。

11月23日、勤労感謝の日とは、戦後の呼び方で、新嘗祭、新穀に感謝する日です。今回天皇陛下が即位されて一番初めの新嘗祭を大嘗祭といいます。即位された年の2回目の卯の日、明日、11月14日がそれにあたります。大嘗宮が建てられています。

大嘗祭で何をするのかは、明かされておりません。新穀をお供えして、天照大御神に捧げるといわれています。大嘗祭では新撰が100を超え、お供えした後で、竹製のピンセットのようなもので、ひとつづつ神様にお供えするので、お祭りが8時間にもおよびます。その場所になぜか布団が敷かれているようで、何に使われるのか学者の間で議論されてきました。陛下がお休みになり、神になるという説が有力です。そうやって初めて先祖の神様、あるいは天照大御神に対して、天子と認められるのではないかと思います。天皇が、まさに天皇になるお祭りで、まさに日本は新しい時代が始まります。



レディオ湘南の資料、いただきました。

《卓話》

『地元コミュニティ放送局とは』

藤沢エフエム放送株式会社

代表取締役 檜原 亮太 様

(紹介者：小河会員)



藤沢のFM放送の前身は、サーフ90のイベント放送やミニFMが舞台となった映画といわれていますがどちらも違います。コミュニティFMの歴史は浅く、1992年、電波法の規制緩和によって日本に導入されました。函館のFMいるかというのが1号です。2号は逗子葉山です。レディオ湘南は、その3年後藤沢青年会議所で、地元の情報を発信しようということで、藤沢市に掛け合い、商工会議所、観光協会はじめ多くの支援を支援をいただき、会社を設立し、平成8年開局しました。会社を設立に拍車をかけたのが、平成7年1月の阪神淡路大震災でした。この時、地域の情報を知る重要性の評価を受け、コミュニティ放送局の必要性が問われました。レディオ湘南は、日本で31番の開設で24年目になります。その後、東日本大震災始め、多くの震災が続き、そのたびにコミュニティ放送局の必要性がよくわかり、現在では328局の放送局があります。今現在も増え続けています。神奈川県には16局あり、防災協定を結び、イベントも一緒にやっております。レディオ湘南の目的の一つは、地域防災です。NHKニュースでは伝えられない情報を伝えることです。市内の避難情報や停電、河川水位、小中学校の休校ごみ収集の変更などを発信していく事を任務としています。東日本大震災のような長期戦となった時、コミュニティ放送局が力を発揮するのは、発生から3日後といわれています。情報が入りやすくなります。ライフライン、コンビニの営業情報、ガソリンスタンド情報など皆さんが必要とするタイミングです。

地方で災害が起きると現地のコミュニティ放送局の放送を聞きます。するとNHKのニュースと違うことが多くあります。全く状況が違います。身の安全や、余震を繰り返し何度も呼び掛けていました。

最近では発信する情報の内容が違ってきました。スマートフォンの充電場所の告知を繰り返しします。情報を得られなくなることがどれほど恐ろしいことかということです。ライフラインが立たれている中で、スマートフォンが充電できれば、SNSで情報を得られます。発信する意図、目的をもってきちんとした放送をしなければいけないと考えています。

防災放送としてどのようなことをしているかという例として、台風19号の時放送記録をご覧ください。最初に商業施設の休業や開店時間の変更などが発信されました。その中に藤沢市の防災行政無線が緊急割込みとして入ってきます。今回異例だったのが、城山ダムの緊急放送告知でした。市民の方から、何時に放送があるのかわからないといわれました。テレビには、テロップがでます。それについての対策としては時報の後、15分間隔などと、考え準備をしています。緊急割込みは、緊急性の高いこと、災害に関する緊急情報を発信しています。平成27年、防災ラジオが導入されました。家の中にいて、外の様子がわからない時、外の防災無線が家の中で聞けます。電源さえ入っていれば、自動的にラジオのスイッチが入り、レディオ湘南にセットされ防災無線が聞こえます。他局を聞いていても、レディオ湘南の防災無線が入ってきます。高評価をいただき、多く導入されましたが、普段出かける時に持ち歩くということはまずないので、どうしたらいち早く情報を発信し、お届けできるかということで、アプリを開発しました。昨年4月ダウンロードとスタートし、げんざい16500人が利用してくださっています。防災意識が高まっていると考えられます。無料公式アプリで、レディオ湘南の放送がいつでも聞け、文字情報として、防災ナビ、防災ナビ、休日夜間の急患診療ほか、多くの情報が文字として入ってきますので、ぜひダウンロードしてください。

藤沢、茅ヶ崎、寒川では防災協定が結ばれています。それぞれの担当と連携を取りながら防災放送をしています。24年目には入り、今年12月に藤沢氏の分庁舎にレディオ湘南が移転します。1階のスペースをいただき、新しい環境で藤沢市と一緒にいろいろなことができるのではないかと考えております。外やロビー

にも音が聞こえます。パブリック性も上がり動きやすくなるのではないかと考えております。今後ともよろしくお願い致します。



小河会員より檜原様のご紹介



本日のお料理

